

■ X 線 TV 検査

X 線 TV 検査とは？

X 線 TV 検査とは連続的に X 線を出すことで、身体の動きを TV モニターでリアルタイムに観察しながら行う検査です。検査によっては造影剤という薬剤(バリウムなど)を用いて通常の X 線写真では写らない臓器の位置や形態を観察しながら行う場合もあります。

当院では救急に1台、診断部門に2台の X 線 TV 装置があります。いずれも FPD(フラットパネルディテクタ)を搭載しており、広い視野で画像の隅々まで歪みのない高解像度な撮影を行うことができます。

■ 検査装置



EXAVISTA



CUREVISTA



ZEXIRA

■ 当院での主な検査

検査部位

消化管検査

- ・上部消化管造影(食道・胃・十二指腸造影検査)
- ・下部消化管造影(小腸・大腸造影検査)

泌尿器検査

- ・逆行性腎盂造影(RP)
- ・排尿時膀胱造影(MCG)
- ・尿道膀胱造影(UCG)
- ・膀胱造影(CG)



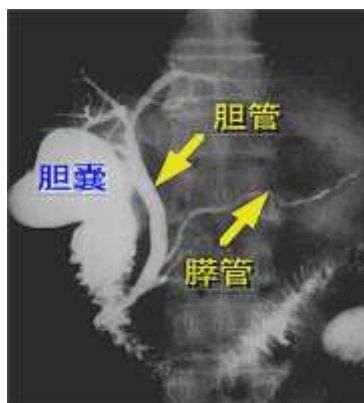
上部消化管造影(胃)



下部消化管造影(腸)

肝胆道系検査

- ・経皮経肝的胆道ドレナージ造影(PTCD)
- ・経皮経肝的胆道造影(PTC)
- ・内視鏡的逆行性膵胆管造影(ERCP)



ERCP

整形外科検査

- ・脊髓腔造影
- ・神経根造影
- ・動態撮影

* 検査は多岐に及ぶため、検査の時間や内容などの詳細に関しては各診療科で説明を受けて下さい。

検査室および検査台の特徴

検査台の特徴

検査台の高さは、お子さまやご高齢の患者様でも負担なく安全に乗り降りできるように低くすることができます。また、検査台を起こす際の動作を緩やかに行うことができるため、安心して検査を行うことができます。

装置の特徴

2way アーム機構というものを備えており、広く視野を移動することが可能で、検査中の患者様の移動を少なくすることができます。また、検査台の周辺を広く使うことができるため、様々な方向から手技を行うことができます。

子ども向けの検査室

当院では小児検査も多く行っているため、子ども向けのレイアウトを施した部屋で検査を行っています。少しでも検査に対する不安を取り除き、スムーズに進めるためにおもちゃを置くなどの工夫をしています。



天上



壁紙

